



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート
2012.11.16.No.1100

ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.no.jp/kyoukita/>



池内さおりさんと国会へ

日本共産党の議席を増やして 原発ゼロ、増税と年金削減ストップ、憲法を守れ

- 11月14日、野田首相と民主党は、「16日に解散する」としました。公約違反、消費税増税を民自公で強行した上に、来年10月から年金をさらに削減するというやり方に、国民の怒りは沸騰しています。
- 日本共産党の議席を増やすことが、政治を変える確かな力です。
まっすぐに 池内さおりさんの誠実な姿勢が、国会には必要です。12区の代表として、全力で押しあげてゆきましょう。

12月16日投票

衆議院も都知事も
(17/4公示) (11/29告示)



都知事選

宇都宮氏が出馬表明

「人にやさしい東京」へ4つの柱

東京都知事選挙への立候補を表明する宇都宮健児氏＝9日、衆院第1議員会館

宇都宮健児さんの
うのみや けんじ
都知事選の政策は
この「レポート」の2面で
紹介しています。おみ下さい。



2012.11.11 国会前の池内さん 15:00
赤羽西口ひろば 1:00



ただちに原発ゼロ
10000000人
あなたも一緒に行動

北区議会
14区定例会
11月20日(火)
本会議です。
11時～
本郷正則
共産党議員
代表候補
3時(予定)
のの山けん
議長の
個人候補

2012.11.11

「人にやさしい東京」をめざして 都政で実現をめざす4つの柱

宇都宮健児都知事候補の訴え

1300万人の人たちが暮らし、働き、学び、育つ、東京。

私は、東京の持つ大きなポテンシャルを考えたとき、都知事が本気になって人びとの生活と社会のために働けば、どれほど大きな貢献ができるだろうと考えてきました。

さる11月6日に公表された「新しい都政の実現を求める声明」に、私は

考えます。福島をはじめとする被災地への支援のために、自治体としてできるあらゆることをおこないません。これまでのように、事故などのリスクを他県に押し付けながらエネルギー供給を得てきた構造そのもの見直しを進め、再生可能エネルギーの普及など、脱原発のために東京都ができるあらゆることを、都民の参加と知恵を得ながら検討し、実施していきます。

(3)子どもたちのための教育を再建します。

まず。

私は、自由と自治の気風があふれる東京の学校を再建します。教育現場が自由であるほど、子どもたちにとっても良質な教育環境と成果がもたらされることは、諸外国の例を見ても明らかです。前都政が進めた「日の

名を連ねました。私がつくりたいのは、まさに「人にやさしい東京」です。

私は、多重債務の問題をはじめとして、弁護士として貧困の問題に長くかかわってきました。リマン・ショックのあった2008年の暮れから翌年にかけておこなわれた「年越し派遣村」では名譽村長をつとめ、その後、完全無派閥の弁護士

としては初めて日弁連会長となり、人権擁護活動や、東日本大震災と原発事故の被災者・被害者支援などに取り組んできました。

「君が代」の強制によって、多くの教育関係者が言葉に表せない苦しみを強いられてきました。私は「上から目線」の教育の統制に反対し、自由で生き生きとした教育をつくりたい。学校選択制などで競争をおおるのではなく、着実な教育インフラ整備をはじめとする、子どもたちにあたにかい教育行政に転換し、いじめ問題の解決に取り組みます。

(4)憲法のいきる東京をめざします。

憲法は法律家としての私の原点であり、戦後日本の平和の基盤となってきた宝です。私は憲法「改正」に反対します。

前都政では、アジア諸国をはじめとする都市との交流は停滞しました。私はそれをすばやく再開します。沖縄の人々とともに、自治をまもる立場からも、普天間基地の辺野古移転、欠陥機オスプレイの配備は認めません。米軍基地のない東京をめざします。

(1)誰もが人らしく、自分らしく生きられるまち、東京をつくりたい。

貧しい家庭で育った私は、誰もが人間らしく、そして自分らしく生きられる社会にしたいという思いで、弁護士になりました。「何が無駄といってまず福祉」という姿勢の前都政のもと、破壊されてきた東京の「生きやすさ」を、私は再建します。

私は、若者もお年寄りも、女性も男性も、障がいのある人もない人も、みんなが参加できるまち・東京をつくりたい。雇用の拡大のための施策、失業時の所得保障を充実させたい。

都民みんなの声に耳を傾けて、「東京の難問」の解決をはかります。

4期つづいた石原都政のもとで、都政には課題が山積しています。オリンピック招致、築地移転問題、新銀行東京、尖閣諸島買収で集めた寄付金の処理など、前知事が突然、放り出してしまった課題は、「強いリーダーシップ」という名のもと、都民の耳に届かない強引な施策によって引き起こされてきました。

「解決」を押し付けることは、本当の解決にはなりません。私は、パブリックコメントはもちろん、タウンミーティング

し、人間らしい働きかたのできる東京をめざします。

私は、高齢者や収入のすくない人、自営業者にさらに負担を強いる消費税引き上げに反対します。東京にシャッター街は似合いません。大規模再開発などの支出を見直し、福祉・医療を充実できる財政を確立します。

(2)原発のない社会へ——東京から脱原発を進めます。

絶対に繰り返してはいけない原発事故。大消費地として東京は、福島原発事故にも少なからぬ責任を持っていると私は

- 野上 浩司
- 西宮 和彦
- 池田 善之
- 野田 聖子
- 菅 義偉
- 上原 公一
- 内田 雅敏
- 内本 雅也
- 半田 信子
- 大塚 博三
- 岡本 厚
- 渡辺 博子
- 奥平 康弘
- 海渡 雄一
- 鎌田 徳一
- 河野 洋平
- 北村 隆
- 木村 健
- 小森 陽一
- 斎藤 貴男
- 早乙女 勝元
- 佐高 信
- 佐藤 学
- 藤田 猛
- 藤原 敏一
- 柴田 徳衛
- 品川 正治
- 杉原 泰雄
- 高田 健
- 佐藤 文
- 佐藤 愛
- 辻 井 尚
- 藤原 敏子
- 寺西 俊一
- 中山 武敏
- 中西 隆
- 堀 尾 雅久
- 前田 哲男
- 山口 二郎
- 渡辺 治

「いざよひ」東京のことがいわれて40名の著名人が